



新たな未来に向かって

皆野町長 石木戸 道也

明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。日頃から町政の進展にご指導とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

昨年は、1年遅れで東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、当町でも子どもたちが沿道で見守る中、聖火リレーが行われました。

アメリカ大リーグでは、大谷翔平選手が二刀流で大活躍し、その日本人らしい立ち居振る舞いに賞賛が相次ぎました。また将棋界では、藤井聡太三冠が、4連勝で竜王を獲得し、ゼロ4000日を達成しました。町

史上最年少の19歳で四冠を達成しました。

町においては、4月に秩父地域初となるマレットゴルフ場がオープンしました。健康づくりに役立つ手軽なスポーツです。多くの方にご利用いただきたいと思えます。2月中には旧水と緑のふれあい館と榊二ノ宮製作所本社工場にサテライトオフィスが完成します。3Dプリンターなどの機器を備えた全国でも数少ない工房併設型の施設です。運営企業とも連携し、企業誘致につながるよう取り組んでまいります。

また、11月4日には交通死亡事故

民の皆様の交通安全意識の高さを示す価値ある記録であり、交通関係団体の日頃の活動に心から感謝申し上げます。

本年4月10日に執行される皆野町長選挙には、立候補しないこととしたのでご報告いたします。4月22日の任期満了をもって退任となりますが、4期16年の成果を新たな町政にしっかりと引き継げるよう、「任んでみたいまち・住み続けたいまち・ときめきの皆野」づくりに取り組んでまいります。

本年も町民の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。

賀正



アフターコロナとこれからの町づくり

皆野町議会議長

若林 光雄

明けましておめでとうございます。町民の皆様方にはご健勝で新年を迎えられましたこと心よりお慶び申し上げます。

日頃から皆野町議会に対し、ご指導とご協力を頂いておりますことに厚く御礼申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症の影響が様々なものに及びました。

身近なものでは、全国民の約8割が接種した新型コロナウイルスワクチン接種、国家規模では、一年間延期した東京オリンピックの無観客開催でした。

大過なく、とは申しませんがその後は、新たな生活様式が浸透したの

か、ワクチンの効果か、(原稿を書いている12月現在は)感染者数は激減し、これからの経済活動の活性化に期待が寄せられています。

催物の開催制限などが解除され、今後は感染防止のために中止せざるを得なかった催し・集会の再開も予定され、地域コミュニティの絆を再構築されることも期待されております。

この冬は大雪の可能性も予測され、災害における「命を守る行動」はもちろんですが、「生活を守る」ためにも、地域コミュニティでの声かけなど積極的にしていただき、コロナ禍においての、人と人同士の関わ

りを絶つような行動からも少しずつ変わってゆきましよう。安心・安全の町づくりは、地域の皆様からの大事な声に耳を傾け、着実に形にしていく、それが基本となるものだと考えています。

そんな中、アフターコロナとも言うべき過渡期の中においての、皆様の「声」を改めて聞かせて頂きたい、そんな思いでおります。

「町民に開かれた議会」をめざし、議会活動をより身近に、更に深く理解していただけるよう、「議会だより」を発行しております。ぜひ、さまざまなお意見をお寄せ下さい。

これからも「任んでみたいまち・住み続けたいまち・ときめきの皆野」をめざし、町と議会は連携を深めながら最善の努力をしてまいります。どうぞ本年も町民の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

3回目のワクチン接種も、まもなく始まります。健康に留意され、今年一年が素晴らしいものになりますよう、またご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。